

### 8-3 柱梁・仕口

通しダイヤフラム

内ダイヤフラム

※内ダイヤフラム取付用のための切断位置 (下部も同じ)

※内ダイヤフラム取付用のための切断位置については、ハネルゾーン内(上図)又は、ハネルゾーンの上下で施工性を考慮して決める。

### 異径管継

通しダイヤフラム使用の場合

通しダイヤフラム使用の場合

柱継手

柱脚の接

その他

変更事項

MEMO

### 8-4 継手

●チーバー管使用の場合

●はかま使用の場合

大梁

保有力合

(特記なき限り保有力合を採用する)

細中H形鋼(SS400)イ種保有力合

符号	H-B-t <sub>1</sub> -t <sub>2</sub>	高力ボルト	フランジ		ウェブ		HTB(F10T)			
			t <sub>1</sub>	t <sub>2</sub>	t <sub>1</sub>	t <sub>2</sub>	h	w	B <sub>a</sub>	H <sub>a</sub>
248-124-5	-8	1.6	4	9-120	9-45	2.8	2	6	185	170
250-125-6	-9	1.6	4	9-120	9-45	2.8	2	6	165	170
298-149-5.5-8	-2.0	4	9-145	9-55	2.8	2	6	165	200	
300-150-6.5-9	-2.0	4	9-145	9-55	2.8	2	6	165	200	
346-174-6	-8	2.0	6	9-170	9-65	4.0	2	6	165	200
350-175-7	-11	2.0	6	9-170	9-65	4.0	2	6	165	200
396-199-7	-11	2.0	6	9-195	9-70	4.0	3	6	165	260
400-200-8	-13	2.0	6	9-195	12-70	4.0	3	9	165	260
446-199-8	-12	2.0	6	9-195	12-70	4.0	3	6	165	320
450-200-9	-14	2.0	6	12-195	12-70	4.0	4	6	165	350
496-199-9	-14	2.0	6	12-195	12-70	4.0	4	9	165	350
500-200-10	-16	2.0	6	12-195	16-70	4.0	4	9	165	350
596-199-10	-16	2.0	6	12-195	16-70	4.0	5	9	165	440
600-200-11	-17	2.0	6	16-195	16-70	5.2	5	9	165	440

※印は千鳥とする。

中中H形鋼(SS400)

符号	H-B-t <sub>1</sub> -t <sub>2</sub>	高力ボルト	フランジ		ウェブ		HTB(F10T)			
			t <sub>1</sub>	t <sub>2</sub>	t <sub>1</sub>	t <sub>2</sub>	h	w	B <sub>a</sub>	H <sub>a</sub>
194-150-6	-9	1.6	4	9-145	9-55	2.8	2	6	225	140
244-175-7	-11	2.0	4	9-170	9-65	2.8	2	9	165	140
294-200-8	-12	2.0	6	9-195	9-70	4.0	2	6	165	200
340-250-9	-14	2.0	6	9-245	12-95	4.0	3	9	165	200
390-300-10	-16	2.0	6	12-295	12-105	4.3	3	9	165	260
440-300-11	-18	2.0	10	12-295	16-105	5.2	4	12	165	260
482-300-11	-16	2.0	6	12-295	16-105	4.3	4	9	165	350
482-300-11	-18	2.0	10	12-295	16-105	5.2	4	9	165	350
582-300-12	-17	2.2	8	16-295	16-105	4.3	5	9	165	440
588-300-12	-20	2.2	8	16-295	16-105	4.3	5	9	165	440
692-300-13	-20	2.2	10	16-295	16-105	5.2	6	9	165	530
700-300-13	-24	2.2	10	16-295	16-105	5.2	6	9	165	530

※H-194-150-6-9ウェブの内側へりあき70とする。

※柱継手は鉄骨梁端より1000の所を標準とする。超音波深部試験は原則として100%行う。

柱脚固定の場合は別図参照

※柱脚ピン露出形固定の場合は、W<sub>2</sub>又はW<sub>6</sub>とする柱脚固定の場合は8-2柱脚を参照。

H型鋼の柱の場合は本図に示す詳細を準用する。但し、その詳細は設計図に示す。本図に示されない詳細は別途設計図に示す。

### 8-5 プレース

丸鋼

山形鋼(シングル)

山形鋼(ダブル)

平鋼

プレースと柱の取合

大梁のダイヤフラムを使用  
プレースのガセットプレートはH形鋼のウェブ又は角型鋼管に取り付ける時はガセットプレートをTYPE 3を使用する。

### 梁のフランジ継手標準寸法

フランジ幅	高力ボルト	継手幅	ピッチ	ゲージ	線端距離				
B	列数	種	B <sub>1</sub>	B <sub>2</sub>	P	ε <sub>1</sub>	ε <sub>2</sub>	φ <sub>1</sub>	φ <sub>2</sub>
125	2	M16	120	45	60	75	-	40	22.5
150	2	M20	145	55	60	90	-	40	27.5
175	2	M20	170	65	60	105	-	40	32.5
200	2	M20	195	70	60	120	-	40	37.5
250	2	M20	245	95	60	150	-	40	47.5
300(ナリ)	4	M20	295	105	45	150	40	40	32.5
300(ナリ)	4	M22	295	105	45	150	40	40	32.5

### 梁のウェブ継手標準寸法

高力ボルト	ピッチ	線端距離	継手幅	継手長さ	
M16	φ(90,120)	40	40	165	φ(90,120)×(n-1)+80
M20	φ(90,120)	40	40	165	φ(90,120)×(n-1)+80
M22	φ(90,120)	40	40	165	φ(90,120)×(n-1)+80

細中H形鋼(SS400)イ種保有力合

HTB(F10T)

※印は千鳥とする。

中中H形鋼(SS400)

HTB(F10T)

※印は千鳥とする。

※H-194-150-6-9ウェブの内側へりあき70とする。

### 8-6 梁貫通

Aタイプ

Bタイプ

Cタイプ

Dタイプ

### 8-7 その他

デッキプレート

スタッド

ブロック筋の納り

### 8-8 柱梁

通しダイヤフラム

内ダイヤフラム

※内ダイヤフラム取付用のための切断位置 (下部も同じ)

※内ダイヤフラム取付用のための切断位置については、ハネルゾーン内(上図)又は、ハネルゾーンの上下で施工性を考慮して決める。

異径管継

通しダイヤフラム使用の場合

通しダイヤフラム使用の場合

柱継手

柱脚の接

その他

変更事項	MEMO

株式会社 西野設計

鹿児島県出水市大野原町272番地 TEL0996-63-3016

知事登録第1-29-120号 一級建築士大臣登録 第189570号

西野正憲

工事名	矢岳第2 牧場肥育舎新築工事	図面番号	B-31	印
図名	鉄骨工事標準図 その2 ( 堆肥舎 A棟 )	製図	西野 検印	
縮尺			平成30年 7月 8日	